

大野木グラウンドワークだより

平成 21 年 11 月 12 日 発行 NO 38

発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

暖かい立冬となりました。先日、上石津から連絡を受け今年はずでに手配が済んでいるとのことにて、竹材需要はそんなにないことを告げられました。事情のともかくは景況その他もあるのですが、竹切シーズンにあって 9～10 月は昨年ほどの成果なく、従って本日も含めて来週くらいは特別バージョンで竹切出動をお願いしなければと思っておりましたが、この心配はなくなりました。

里山の秋を余裕をもって楽しむことに、これからのご馳走であるファイヤーサークルでの焚き火から始まりました。快晴の中、パチパチと燃える焚き火に次々とメンバーの笑顔が集まってきました。

うれしいニュースです。秋の叙勲に吉田善次さんが「瑞宝双光章」を受けられることになりました。11月9日東京にてご夫妻が出席され栄誉の章を受けられました。永年にわたるご努力の賜物として素晴らしいこと、一同から喜びの声が上がりました。ほんとおめでとうございました。

人として生涯をかけて社会貢献はいかにして成せるものなのか、人の道を説く「つもりちがいの十カ条」(別添)をいただきました。社員クラブにも貼っておきましたので時々はながめて自戒の念によろしくしたいものです。

森の中は菌が白く回ってきた井桁積みのしいたけの原木を縦列に並び替え、全部で 4 列になり、この分だと春にはスーパーに売りに出かけるほどになるのかな！

里道奥の道再生に向けて竹きり 10 時の休憩までに約 30 本くらい太くて長くて、一人で担げるのは達夫さんくらいで、そこそこの成果があり立冬の大汗をかいて健康的な運動となりました。

休憩には柿、りんご、さつまいも、するめのかきあげが出て美味しいお茶に、それで干し柿づくりは一度干して湯に漬ける、干すとき雨や霧でぬれるとかびの原因となること。玄米、胚芽米から味噌つき豆の段取りのことまで、麴はどうする「買うより出してもらう」？冬の作業準備～相談がいくつかできました。

里山再生のキーである里道再生のルートチェックのため、逆に野神さんから入るコースで赤杭をリサーチ、道らしきものと外れている箇所さらに竹やぶジャングルの中を幅広く杭を探して既に再生した里道に到達。このテープは後日近接地主さんに確認いただくことに

今年の資材調達計画として

- ・ グライNDER コースター磨き
- ・ ホース
- ・ ランプ
- ・ 鍋（ずんどー）
- ・ チェンソー

作業計画として

- ・ ブランコ（リクエストがあり、もうひとつ作って）
- ・ 移動式テント
- ・ ほたるコースター200個
- ・ 作業台 3

次回準備として

- ・ 実のなる木 きんかん、ブルーベリーなどの植栽
- ・ 5号ポンプ横の樫材の運搬

次回は **12月8日（火）** です、よろしくお願ひします。

忘年会は **12月20日** の予定です、予め日程調整を願ひます

つもりちがし十カ条

- 一・ 高いつもりで低いのが教養
- 一・ 低いつもりで高いのが気位
- 一・ 深いつもりで浅いのが知識
- 一・ 浅いつもりで深いのが欲望
- 一・ 厚いつもりで薄いのが人情
- 一・ 薄いつもりで厚いのが面皮
- 一・ 強いつもりで弱いのが根性
- 一・ 弱いつもりで強いのが自我
- 一・ 多いつもりで少ないのが分別
- 一・ 少ないつもりで多しのが無駄

大野木グラウンドワークだより

NO38

2009/11/7 (土) 晴れ



今冬植菌した椎茸木を積み替えた。



野神さんを目指して里道作り



進路をテープで明確に



どこにあるかな？境杭探しに一苦労



竹ジャングルの中を掻き分けて境界にテープで目印をした。



竹の伐採も行いました。



男性参加者で記念写真を・・・女性の方御免なさい。

次回は12月8日(火)です。ヨロシク



お母さん方の真心料理で美味しくいただきます

忘年会は12月20日(日)甲津原でシシ鍋です。お楽しみに